仮定法 入門

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I [] a lot of money, I would buy a house in Kyoto.

(大阪経済大)

- ① have [校正用: false]
- ② had [校正用: true]
- ③ have had [校正用: false]
- ④ has [校正用: false]

解答:②

【設問の解説】

「もし大金を持っていたら、京都に家を買う のに。」

仮定法過去 「もし〜なら、…するだろう

(に)」は、現実に反する仮定や実現しそうにない仮定を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形+動詞の原形〉で表すのがポイント。

If S did ~, S' would [could / might / should] do

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I had enough time, I [] the idea in detail.

(札幌大)

- ① explain [校正用: false]
- ② have explained [校正用: false]
- ③ will explain [校正用: false]
- ④ would explain [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「もし十分な時間があれば、その考えをくわ しく説明するのに。」

仮定法過去 「もし~なら、…するだろう

(に)」は、現在の現実に反する仮定 や これからも実現しそうにない仮定 を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を 〈助動詞の過去形+動詞の原形〉で表すのがポイント。

If S did \sim , S' would [could / might / should] do

...

なお、if節でbe動詞を使うときは、主語にか かわらずbe動詞はふつうwereを使う。

If I were a cat, I could sleep all day. (もしぼくが猫なら、1日じゅう寝てられるのに。) in detail 「くわしく/詳細に」

空欄に適する語句を選びなさい。

• I wish I [] English better.

(東京経済大)

- ① speak [校正用: false]
- ② will speak [校正用: false]
- ③ spoke [校正用: true]
- ④ should speak [校正用: false]

解答:③

【設問の解説】

「もっと上手に英語を話せればいいのに。」 **現在の現実に反する願望**を表すときは〈S wish (that) + 仮定法過去〉で表す。仮定法過 去を使うので、S wish (that) のあとの動詞は 過去形にするのがポイント。この表現では、 thatはよく省略される。

S wish (that) S' did ~「(今)S'が~すれば 〔なら〕いいのに(とSは思う)」 なお、S wish (that) のあとにbe動詞を使うと きは、主語にかかわらずbe動詞はふつうwere

を使う。

I wish I <u>were</u> a little taller.(もうちょっと背が 高かったらなあ。)

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I [] my car on that day, I would've offered you a ride.

(南山大)

- ① have [校正用: false]
- ② has [校正用: false]
- ③ have had [校正用: false]
- ④ had had [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「もしあの日に車があったら、乗っていかないかと声をかけていたのに。」

仮定法過去完了「もし~だったら、…しただろう(に)」は、過去の現実に反する仮定を表すときに使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形+完了形〉で表すのがポイント。

If S had done \sim , S' would [could / might / should] have done

offer A B「AにBを勧める〔申し出る〕|

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I [] you, I wouldn't go out with such a person.

(日本大)

- ① am [校正用: false]
- ② are [校正用: false]
- ③ were [校正用: true]
- ④ will be [校正用: false]

解答:③

【設問の解説】

「もし私があなたなら、そんな人とデートなんかしないわ。」

現在の現実に反する仮定 や これからも実現 しそうにない仮定 を表すときに使う。if節の 動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過 去形+動詞の原形〉で表すのがポイント。

If S did \sim , S' would [could / might / should] do

•••

本問のように、if節でbe動詞を使うときは、 主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使 う。

If Paul <u>were</u> here now, I would speak to him. (もしポールが今ここにいたら、彼に話をするのに。)

なお、本問は、主節にnotがついて否定文「~しないだろう(に)」となっている。

ここに参考書リンクが入ります